

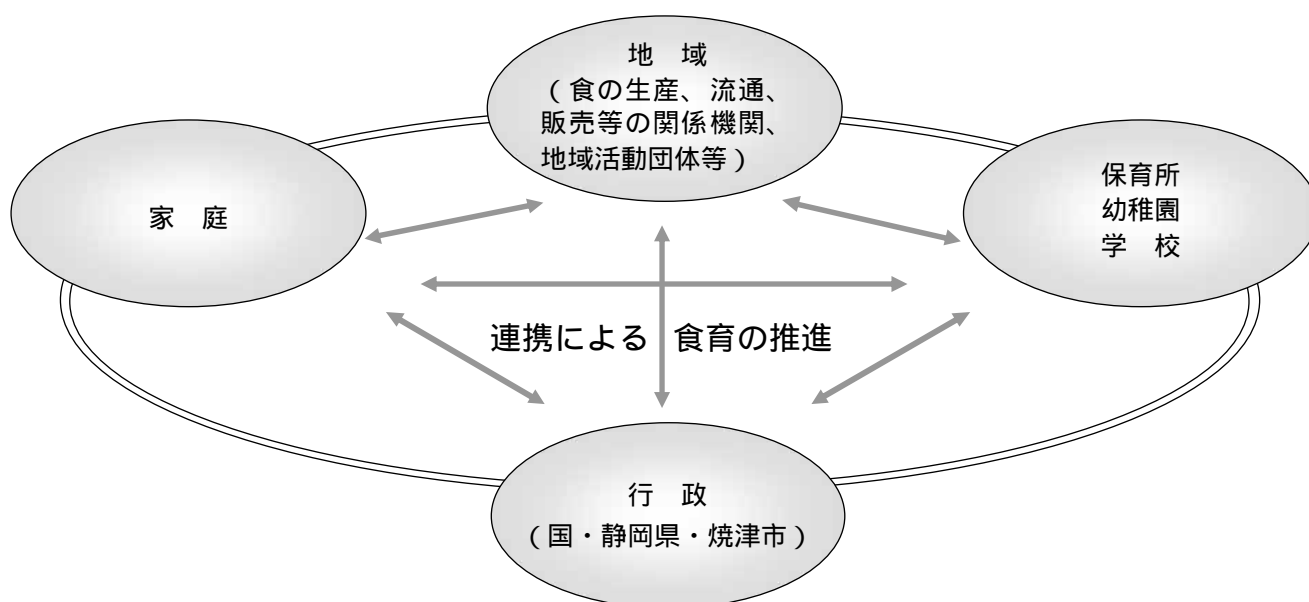
第4章 計画の推進

1 計画の推進体制

この計画は、すべての市民を対象とするものであり、総合的かつ計画的に推進するために、全庁的な連携のもとで積極的に事業などを進めてまいります。この計画の施策については、総合計画に基づく実施計画及び各年度の予算に基づき推進を図ります。

2 各種関係機関等との連携

この計画を実現するためには、様々な分野の関係者連携を図り、それぞれの特性を活かして食育の推進に取り組むことが重要です。行政だけでなく、家庭はもちろん、幼稚園、保育所、学校、地域（食の生産、流通、販売等の関係機関、地域活動団体等）が協働し、食育を推進していく仕組みを整備します。



3 計画の弾力的な運用

計画期間中においても、ニーズの多様化、経済状況の変化など、社会状況の変化が予想されます。これらの社会環境の変化や国の動向等を踏まえ、必要に応じた計画の見直しを行い、効率的で弾力的な運用に努めます。

4 食育を推進する人材の育成

食育は、市民一人ひとりが自ら健全な食生活を実践することが重要です。各種関係機関や食育に係るボランティア等が密接に連携・協力しつづけて食育を推進するため、身近な地域で食育を推進する人材を育成し、その活動を支援していきます。

5 数値目標

食育を推進していく上で、数値目標を掲げ、施策を展開するとともに、数値目標により成果や達成状況を客観的な指標により把握できるようにします。

| 目標 | 指 標 | 現 状 値 | 目 標 値 | 目 標 値 (県) |
|----------------------------------|-------------------------|---------------|--------|----------------|
| 全 体 | 食育に関心のある人の割合 | 71.3% | 90%以上 | 90%以上 |
| | 食育の推進にかかわる活動等に参加している割合 | 参考 1.2% | 20%以上 | |
| 食 を 知 る | 朝食を食べる幼児・児童・生徒の割合 | 保育園・幼稚園 92.8% | 100% | 100% |
| | | 小学生 89.4% | 100% | 100% |
| | | 中学生 86.2% | 100% | 100% |
| | 朝食を食べる人の割合 | 20歳代男性 50.0% | 85%以上 | 85%以上 |
| | | 20歳代女性 56.9% | 85%以上 | 85%以上 |
| | | 30歳代男性 69.2% | 85%以上 | |
| | | 30歳代女性 82.5% | 85%以上 | |
| | 食事バランスガイドの意味を知っている人の割合 | 29.5% | 50%以上 | |
| 食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている人の割合 | 46.3% | 60%以上 | | |
| | 食事バランスガイドを参考にしている人の割合 | 15.8% | 30%以上 | |
| 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている人の割合 | 55.1% | 60%以上 | 60%以上 | |
| メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）を認知している人の割合 | 75.6% | 80%以上 | 80%以上 | |
| 肥満の児童の割合 | 現状値なし | 2.5%以下 | 2.5%以下 | |
| メタボリックシンドローム該当者の割合（40～64歳） | 現状値なし | 平成20年度実績の10%減 | | |
| 食 を つ く る | 調理体験を実施している幼稚園・保育所の割合 | 72.4% | 100% | 100% |
| | 農業体験を実施している幼稚園・保育所の割合 | 89.7% | 100% | |
| | 料理をしている人の割合 | 男性 36.5% | 50%以上 | |
| 食 を 楽 し む | 学校給食における地場産物を使用する割合（品目） | H17 実績 30% | 30%以上 | 30%以上 |
| | 魚を食べることが好きな児童・生徒の割合 | 小学生 76.0% | 90%以上 | |
| | | 中学生 58.4% | 70%以上 | |
| 孤食をしている児童の割合 | 小学生 0.8% 中学生 4.6% | 0% 0% | | |

ボランティア・市民活動に参加している人